

それぞれのお山参詣

旧暦の8月1日を朔日山（ついでちやま）、その前日を宵山（よいやま）、前々日を向山（むかいやま）とし、集団で岩木山に上り、ご来光を拝むことで、五穀豊穡と家内安全を祈願して行われる津軽地域最大の秋祭り『お山参詣』。相馬有志会はコロナ以前まで18年間連続で集団登拝を行ってきた。

今年、岩木山神社はマスク、消毒、飲食の禁止をするなど感染対策をとりながら、団体参拝の受け入れを行った。

相馬有志会では団体参拝は見送りながらも、向山の日には役員による旗揚げとご祈禱を行った。また宵山の日には、社会福祉法人七峰会の団体参拝のサポート役として拝殿前まで登拝に付き添った。当団体は、独立参拝を目指しノウハウを学ぶため、4年前、相馬有志会に約50名で来て以降、コロナの感染拡大により運行ができなかった為、今年が『七峰会』とし

て初めての集団参拝であった。

登山囃子愛好会に関しても、有志が七峰会の囃子方をサポートし、宵山の日に行われる登山囃子本大会へ出場した。

有志会代表の中澤圭一さんは「今年団体参拝を見送ったが、来年はみんなで登拝できることを願っている」と話していた。



旗の上った岩木山神社参道は更に荘厳



真摯にご祈禱する島口昭男前会長と有志会



相馬登山囃子愛好会
お囃子が鳴り響く



七峰会の立てるのぼり旗を見守支える
相馬有志会の面々



五穀豊穡を願うお供え物とぼんのこさし



無事に登拝が終わり安堵の表情

七峰会